

農業の新たな可能性に挑戦

市地域6次産業化ビジョン策定チームは「地域6次産業化ビジョン」の基本コンセプトを提示しました。また、これに基づいて「トライアルプロジェクト」を試験的に実施します。

地域6次産業化ビジョン策定の取り組み

市は、農業を中心とした地域の一体的な産業の振興を目指し、昨年9月に市内で活躍する農業者、食品加工业者、消費者と市職員からなる「奥州市地域6次産業化ビジョン策定チーム」（後藤大助リーダー）を設置しました。策定チームは、これまでの行政計画とは一線を画し、民間委員ならではの消費者の視点を意識した独特な取り組みを目指して、年

内のビジョン策定に取り組んでいます。

策定チームではこのほど、ビジョンの基本コンセプトを「食の黄金文化・奥州」と決定し、市に提示しました。

「食の黄金文化・奥州」

この地域は、「日高見国」や「水陸万頃」の地と言われた古代からの豊穡の地。奥州藤原文化を支えた食糧供給基地のひとつになっていったと言われています。そして現在でも米、肉牛、リンゴ、野菜など農畜産物の一大生産地です。

この地域イメージと実体を生かして地域6次産業化を進め、市の農業と食の価値、地名度を高めます。そして、地域ぐるみで産業振興に挑戦する、それが「食の黄金文化・奥州」です。

トライアルプロジェクト

策定チームは、ビジョン策定のため、本年度13の事業（次頁参照）を、トライアルプロジェクトとして試験的に実施します。

このうち、①③とロゴマークについては現在募集を行っています。詳しくはお問い合わせください。（募集要領および申請書は本庁地域ビジネス推進室にあるほか、市ホームページからダウンロード可）

お問い合わせ・応募・申請先は本庁地域ビジネス推進室（内線442、〒023-8501※住所記載不要、business@city.oshn.iwate.jp※メールの添付データは4メガまで）



地域6次産業化ビジョン策定チームミーティングの様子



市地域6次産業化ビジョン策定チーム

（菓子処後藤屋・専務）

後藤大助 リーダー(35)

市にはブランド力のある農畜産物や美味しい食べ物がたくさんあるのですが、これまで「奥州市」のイメージとつながってきませんでした。

今回のトライアルプロジェクトをきっかけに「食の黄金文化・奥州」を市内外に定着させていければと考えています。

「食の黄金文化・奥州」ロゴマーク

「食の黄金文化・奥州」をイメージできるロゴマークを募集します。

- ▶ 作品の条件＝①自作・未発表の作品、1人(1団体)2点まで②ロゴマークには「食の黄金文化・奥州」の文字を入れる
- ▶ 応募方法＝①紙の場合はA4サイズ1枚、電子データの場合はJPE G形式で作成②ロゴマークの説明(100字以内)を添付③応募者氏名、住所、年齢、電話番号、勤務先または学校名・学年を明記の上、応募先へ提出(郵送、メール可)
- ▶ 応募期限＝8月15日(必着)
- ※採用者へは前沢牛と南部鉄器セットなどを贈呈

②食の黄金店認定制度

市民や観光客に市産食材の良さを知ってもらい、地産地消をより一層推進するため、市産食材を積極的に使っているお店を「う米のおうしゅう食の黄金店」として認定します。

- ▶ 対象者＝市内に店舗があり、市産食材を用いた料理を提供する飲食店、ホテル、旅館など
- ▶ 認定要件＝市産食材の使用割合など
- ▶ 申請方法＝申請書に必要事項を記入の上、関係書類を添えて申請先へ提出
- ▶ 申請期限＝8月15日(必着)
- ※認定店には認定プレートを交付し、市ホームページなどで紹介、食のイベントや勉強会などの情報を提供

①伝統作物及び食文化調査

市内の伝統作物や伝統食などの文化を掘り起こし、保全と活用に取り組みます。伝統作物を栽培している人などの情報をお寄せください。

- ▶ 伝統作物＝ある地域で世代を超えて栽培されていて、栽培者が自ら種取りや繁殖を行っている農作物で、特定の料理や用途(祭式や儀礼など)に用いられているもの
- ▶ 調査内容＝名称、写真、産地(地域)、時期、栽培者、主な用途(食べ方)、由来など
- ※情報があつた栽培者には、後日、調査員が訪問

③地域6次産業化支援事業補助金

農業者と他産業者との連携により、市産農林畜産物の付加価値を高め「食の黄金文化・奥州」の普及につながる、先進的な取り組みを支援します。

- ▶ 対象者＝①2次または3次産業と連携する、市内に住所を置く農業者または農業者団体②市内に住所を置く農業者などと連携する、市内に主たる事業所を置く2次または3次産業の事業者
- ▶ 補助率＝1/2以内(上限30万円)※ハード整備などは対象外
- ▶ 採択予定数＝3件(審査会により選定)
- ▶ 申請方法＝申請先に事前相談の上、所定の様式に記入し提出
- ▶ 申請期限＝7月31日(必着)

「食の黄金文化・奥州」のブランドづくりに向け13のトライアルプロジェクトが動き出す

■今後実施を予定しているトライアルプロジェクト

No.	事業名	概要
④	勇気を持って有機栽培基礎調査及び研修会	有機栽培などの調査を行い、生産者と需要者が一体となって有機農業拡大の可能性を検討します。
⑤	奥州市産食材を使った料理コンクール	市産の食材を活用した、全国規模での若手料理人対象の料理コンクールを開催します。
⑥	農業するなら食の黄金文化・奥州でしょ!	本市版の新規就農希望者向けのパンフレットの作成など、1ターン新規就農者の獲得を試みます。
⑦	地域6次産業化研究会	生産者と他産業者の連携を促進し、地域の産業課題などについて研究します。
⑧	アグリタウンツアー	農業体験などを促進し、地域農業のファン拡大に取り組みます。
⑨	食の黄金文化を帰省客を通じ全国に拡散事業	帰省客向けの6次産業化産品などのお土産パンフレットを作成し、全国へ市産品をPRします。
⑩	食の黄金文化を首都圏でPR活動	豊富な地域資源を首都圏で売り込み、市産食材などの認知度を高めます。
⑪	食の黄金文化情報発信	本市の農業と食をメインとしたオリジナルPR動画を制作し、全国に向けて発信します。
⑫	農の出逢い事業	農業体験などを通じた出逢いを促進し、農×観光×食×婚活などのさまざまな可能性を検討します。
⑬	奥州食の黄金文化祭	食の黄金文化祭を開催し、食の黄金文化の定着を図ります。